

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 神崎達朗 幹事 小清水正義 会報委員長 安部信三



Reach Within to Embrace Humanity
心の中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年～2012年度国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

第1287回例会 2012年5月31日(木)(曇)

司会 濑戸 誠副幹事

点鐘 神崎達朗会長

合唱 「奉仕の理想」(北村まり子さん)

唱和 「四つのテスト」(高橋幸雄君)

ビジター紹介 古谷義幸様(秦野市長) 片野新治様(秦野市
秘書課) 山田 悟様(オブザーバー)

祝結婚記念日 大屋君(5/27)

祝創業記念日 北村(ま)さん(5/28)

幹事報告

[週報受理] 茅ヶ崎 川崎

[受付文書]

- R I 日本事務局財団室NEWS(回覧)
- フィリピン・アフリカを助ける会より、フィリピン・アフリカを助ける会だよりが届きました。
- 社会福祉法人ビーハッピーより、支援金へのお礼状(回覧)
- 国際ロータリー日本事務局経理室より、6月のレートのお知らせ 1ドル=80円

[本日の配布物] 「フィリピン・アフリカを助ける会だより」「ロータリーの友」

○ 6/28(木)最終例会は夜間例会です。

点鐘 18:00

場所 秦野商工会議所

会長報告

○ 今年度も残すところ1ヶ月になり、ガバナー事務所よりの報告事項も少なくなってきました。本日は古谷義幸秦野市長において頂き、お話を聞いて頂きます。お忙しい中、ありがとうございます。

○ 新会員研修会・修了証授与

- ・北村俊和君
- ・伊藤彩夜加さん



スマイル報告

- 神崎達朗君 「古谷秦野市長、お忙しい中、ありがとうございます。本日、講話を宜しくお願いします。山田さん、ようこそ秦野名水へ」
- 小清水正義君 「古谷市長、本日はお忙しい所ありがとうございます」
- 諸星常平君 「古谷市長、ようこそ名水へ！市長講話宜しくお願いします」
- 桐山晃忠君 「新しい友を作り、老後は忙しいのが長生きするようです。でも“疲れ”は良くないようです」

会員数	40名
出席数	31名
出席率	79.49%
前々回 の修正	81.18%

メー クア ズブ	[事前] 高橋(修)君(地 区)
	[事後] 木村さん 相 原君 北村(俊)君(秦 野) 加藤君(秦野)

本日 の プロ グラ ム	6月7日
	○ クラブ協議会 各委員会活動報告 ○ 理事会

次 週 の プロ グラ ム	6月14日
	○ クラブ協議会 各委員会活動報告

- 大屋富茂君 「結婚祝い、ありがとうございます。40年を経過し、すっかり冷めた？夫婦となった現在です」
- 北村まり子さん 「創業記念の祝い、ありがとうございました」
- 河野治男君 「今泉名水桜公園ゴミ拾い、全員集合ご苦労様でした」
- 多田嘉之君 「古谷市長ようこそ！」
- 木村眞澄さん 「皆様ご無沙汰しております。市長、今日はようこそ秦野名水RCへ。歓迎いたします」
- 前 肇君 「山田さん、ようこそ。僕に初めてのスポンサーバッジをありがとうございます！」
- 淵脇美代子さん 「ゴミゼロ運動、皆様お疲れさまでした。スマイルします」

合計 25,000 円

委員会報告

- 25周年記念実行委員会 三留文雄委員長
5/17 実行委員会報告
 - ① 原田直之氏への打ち合わせは神崎総務委員にお願いする。(内容は講演を主に、出演料はなるべく低く等々)
 - ② 友好クラブ(古河東RC)との締結式を行う。
 - ③ 登録者には“記念品”を贈る。

※次回の実行委員会は6/14(木)、例会終了後開催いたします。
- 瀬戸 誠副幹事
本日例会終了後、次年度理事会を開催いたします。

卓話

「秦野市の現状について」

古谷義幸秦野市長



本日は、ご招待ありがとうございました。

まず、水資源の問題をお話しますが、水には限りがあります。世界の水のうち、真水として使えるのはごくわずかです。秦野市には3億トンといわれる地下水がありますが、本市の財産ともいいくべき水を守っていかなければなりません。水の問題を知ってもらおうと、今年は、水に関する取り組みを考えています。そして、水の大切さをあ

らためて考えるきっかけとしたい。

次に、人口問題ですが、現在地方は、人口流出などによる過疎化で苦しんでいます。過疎化により、田、畠、山を守る人もいなくなります。このことは、政治の責任であり、国を貧しくしていると思います。地方が人口問題で苦しんでいる中、本市は17万人前後をキープしています。出生率の低下による自然減の中、人口が減少しないのは、雇用の確保があるからこそです。人口減少を防ぐため、交通などの利便性の確保をはじめ、10年後にも、人口169,000人を維持できるような取り組みを続けていきたい。

次に、今年度の施政方針について少しお話したいと思います。

今年度は、『大根川ポンプ場建設』や『浄水管線センター増設』、また、秦野市伊勢原市環境衛生組合の『クリーンセンターの建設』などの大型のハード事業が仕上げの時を迎えます。過去を捉え、未来を見据えて、その礎を築くことは、とても大切なことです。現在はもとより、将来を生きる市民の生活の安全・安心を一層充実させるため、次の3点を機軸として、市政運営に取り組んでいきます。

まず1点目は、「次代を担う子どもたちのための子育て支援」です。少子化が急速に進み、深刻な社会問題になっている昨今、子育てをする両親、そして、「はだのっ子」にとって優しく温かいまちにするため、思いを込めて、子育て支援に取り組んでいきます。そして、子育てにかかる経済的負担や、安心して子育てができる環境の整備など、優先順位も考慮しながら、着実に取組むことで、「秦野で子育てをして暮らしたい」と選択してもらえるようなまちを目指したいと思います。

2点目は、「市民力・地域力・職員力による地域の活性化」です。将来のまちづくりの一翼を担って頂く、市民力、地域力の支援、職員力の育成に力を注いでいきたい。すでに、「実朝まつり」、「七福神と鶴亀めぐり」など、地域主体で取組んでいる事業もありますが、こうした地域の積極的な取組みを歓迎し、できる限りの支援をしていきたいと思います。まちづくりは、役所だけでは無理、これまででも地域と一緒にになってやってきたし、これからもそうしたい。

3点目は、「地域の魅力ある資源を生かしたまちづくり」です。

本市の財産であり、地域の宝でもある里地里山や豊かな自然を生かし、若い世代の定住促進を図ることで、地域の人口を増加させる施策や、新東名高速道路のインターチェンジやサービスエリアの設置といった新たな要因を活用し、周辺の地域活性化、観光振興などに努めていきたい。大都会に近い、やすらぎのある観光地にできればと思います。

最後に、名水ロータリーの皆さんには、市政へのご理解とご協力を願い申し上げ、私からのお話とします。

ご清聴有難うございました。